

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年7月1日
事業者名:	株式会社ジーテクト

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	持続可能な社会の実現に向け、気候変動リスクに取り組むことは企業が果たすべき大きな社会的責任です。 当社は自社の事業を通じて排出されるCO2削減に向け、体系的に積極的な取り組みを行っているほか、バリューチェーンにおける環境負荷低減にも取り組んでいます。 具体的な対策内容としては、省エネ取組や生産性向上に伴うエネルギー消費の削減、自家消費型太陽光発電設備導入や再生可能エネルギー由来の電力調達への切り替えです。 2023年5月には、国内における全ての工場と自社所有事業所にて、再生可能エネルギー由来の電力への購入切替が完了しています。		⑬気候変動に具体的な対策を、⑮陸の豊かさも守ろう	当社の温室効果ガスのScope 1+2の排出量（海外を含むグループ全社）はマーケット基準で2023年度に約8万9千トンであったのに対し、2024年度は約7万8千トンにまで削減しました。	指標	温室効果ガス（CO2）の排出量削減
					目標	Scope1 + 2 のCO2排出量削減の目標を2030年度で2013年度比50%、2040年度で100%と掲げ、2050年度にScope3 を含むカーボンニュートラルを目指します。
社会	ジーテクトでは組織力の最大化のために、特徴ある個の力を結集することが重要と考えています。 組織力向上の取り組みを確実に推進するため、多様性向上に関する指標を定め、目標達成に向けて取り組んでいます。		⑧働きがいも経済成長も	新卒および中途採用における女性比率（2024年度）：9.4% 女性役職者比率（2024年度）：4.9% 男性育児休業取得率（2024年度）：45% 多様な生き方を支援する新規施策（2024年度）：3件	指標	新卒および中途採用における女性比率、女性役職者比率、男性育児休業取得率、多様な生き方を支援する新規施策実施回数
					目標	・新卒及び中途採用における女性採用比率を2028年までに25%とする ・女性役職者比率を2023年3月時点と比して2028年までに1.5倍とする ・男性の育児休業取得率を2028年までに30%以上とする ・生産性を維持した多様な働き方実現に向けた新規施策を1つ以上実施する
経済	当社の製品から成る自動車は、最も環境に配慮しなければならない製品の一つです。 特に自動車の燃費は車重によって大きく左右されることから、車体の軽量化は大きな課題です。 当社では、独自の設計思想と軽量化技術により、性能は落とさずに車体の軽量化を実現することで、環境負荷の少ない製品づくりを行っています。		⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任 つかう責任	環境負荷の少ない製品の開発のために、鉄鋼メーカーやダイキャストメーカーと協業し、新たなコンセプトモデルを作成し、「人とするまのテクノロジー展 2025」（2025年5月開催）に出展しました。 また、東京都に所在する自社拠点の実証ラインにて複数のEV関連技術を実証しています。	指標	EV向け製品売上高、EV向け製品売上高営業利益率
					目標	2031年3月期までにEV向け製品売上高1,000億円、EV向け製品売上高営業利益率8%を達成する
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 世界中に拠点を展開している当社にとって、とりわけグループガバナンスの強化と健全なガバナンス体制の維持は大変重要な課題と認識しています。 そこで当社では、チェックリストを用いるなどして定期的に国内・海外拠点のガバナンス状況を確認するとともに、本社と現地で課題の共有や改善策の検討を行い、ガバナンスレベルの維持向上を図っています。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 https://www.g-tekt.jp/environment/csr/materiality.html				